

Indonesia Weekly

2019年6月24日



(対象期間：2019/6/17～2019/6/21)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年6月21日)



【株式市場】

週初、米中貿易摩擦の不透明感などを背景に下落して始まりました。その後は金融政策決定会合を前に、緩和期待の高まりから不動産株を中心に回復傾向となりました。20日、インドネシア中央銀行（BI）は政策金利を据え置きとしましたが、金融機関の資金流動性を高めるために預金準備率を0.5%引き下げました。また、BI総裁は利下げについて、国際金融市場の状況次第としながらも、前向きな姿勢を示しました。週間では上昇となりました。

2019/6/14	2019/6/21	変化率
6,250.27	6,315.44	+1.04%

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年6月21日)



【債券市場】

19日の米連邦公開市場委員会（FOMC）と20日のBIの政策決定会合が注目される中で行われた18日の国債入札は投資家の旺盛な需要が見られ、応札額は前回は大幅に上回りました。特に外国人投資家からの需要が堅調となりました。注目の政策決定会合では政策金利が据え置かれましたが、年内の利下げ期待を背景に10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

2019/6/14	2019/6/21	変化幅
7.681	7.452	-0.229

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年6月21日)



【為替市場】

米国の利下げ観測の高まりにより、米ドルが全面安となったことからルピアは対米ドルで堅調となりました。加えて、債券市場に外国人からの資金流入がみられたこともサポート要因となりました。週間では対円、対ドルともに上昇しました。

2019/6/14	2019/6/21	変化率
0.7548	0.7618	+0.93%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

